

5 . 経営方針

< ビジネスの基本スタンス >

ネットワーク社会は確実に拡がり、我々の生活のあらゆるところにITが浸透し、いつでも、どこでも、誰とでも、ネットワークを通して情報交換のできるユビキタス社会が到来しつつあります。また、ITは、お客様の経営にとって、ますますその重要性が増大しており、ITシステムの構築・活用のパートナーの選定においては、単なる製品やサービスの提供に止まらず、長期的な信頼関係をベースとしたITのライフサイクル全体に対する提案、実現ができることが求められております。

当社は、全ての行動と発想の原点をお客様に置き、お客様の置かれている環境やビジネス全般を深く理解した上で、具体的かつ即効性のある効果をもたらす提案をしまいにあります。また、変化の激しい市場やお客様にスピードを合わせることを徹底して追求してまいります。

当社は、IT産業のリーダーとして、最先端かつ高性能、高信頼を備えた強いテクノロジーをベースに、品質の高いプロダクト、サービスによるトータルソリューションを継続的に提供するという事業方針を堅持しつつ、新しい技術や活用を実現する最先端テクノロジーからサービスに至る総合力を更に高め、お客様のビジネスに寄与してまいります。そうすることにより、お客様の経営のパートナーとなり、お客様とともに成長することを目指してまいります。

< 事業戦略と対処すべき課題 >

経済や市場の先行き不透明感の中、お客様の経営にとって、今日の最優先課題は、ITシステムの運用コスト削減、および更なる成長を目指した事業競争力の強化にあると考えております。

今日のITシステムは、構成する製品が多様化し、高度化するとともに複雑化しており、お客様の運用負荷はますます増大しつつあります。一方で、システムは業務ごとに分散していることが多く、また、対外的なシステム接続の必要性が増大しており、システムの相互連携はますます重要となっています。これに伴い、システム全体を統合的に構成・管理する能力への要求は、ますます高まりつつあります。

当社は、ITの活用による総合的な解決策を提供できる独自のポジションを活かし、お客様のビジネスの成長と発展により一層寄与できるように取り組んでまいります。具体的には、以下のような施策に重点的に取り組んでまいります。

総合的かつ継続的なソリューション提供

当社は、お客様のあらゆる業務システムの相互連携性を高めるとともに、それら業務システムのコンサルティング、企画、開発、運用、保守といった一連のプロセスを全体的に捉えることにより、ITシステム全体での運用コスト削減と、お客様の事業競争力強化を追求してまいります。各プロセスにおいて、それぞれの段階で提案を行うだけでなく、お客様の経営方針や戦略を理解した上で、総合的なサービス提案を継続して行ってまいります。

次世代IT基盤の強化

当社は、システムの高度化と複雑化といった課題に対し、サーバ、ストレージ、ネットワークをミドルウェアで統合させ、他社製品を含む、個々の製品やシステムの相互連携性を高めた次世代IT基盤“TRIOLE”の開発および提供の強化に取り組んでおります。具体的には、メインフレームで培った圧倒的に信頼性の高い設計技術や高度な安定運用技術を進化させるとともに、豊富なシステム構築の経験やノウハウをベースに、信頼性の高いシステム構築パターンを活用し、システムの安定稼働、スピーディなシステム構築、お客様のビジネスの拡大に応じたシステムの拡張性を実現してまいります。

各ビジネスグループの施策

ソフトウェア・サービスビジネスにつきましては、アプリケーションの開発生産性向上への取り組みやプロジェクトマネジメントを強化し、引き続き収益性の向上を図ってまいります。一方、製造や流通の大手のお客様や、医療、市町村統合等といった成長市場、ならびに、アウトソーシング、CRM、ERP、e-Learning、モバイルソリューションなどの成長分野へのパワーシフトを加速してまいります。加えて、競争力のあるミドルウェア製品の販売を強化し、市場シェアの獲得を目指してまいります。

プラットフォームビジネスにつきましては、工場で生産革新運動を展開し、生産性向上に徹底して取り組むなど、ものづくり強化を進めております。生産工程だけでなく、開発、設計、調達を含むあらゆる段階において、製品およびサービスの品質向上、開発期間短縮、コスト削減に注力してまいります。また、ソフトウェア・サービスビジネスとの連携をより活かして、次世代IT基盤“TRIOLE”を核としたビジネスの拡大や、グローバルな展開を強化するための体制づくりに取り組んでまいります。

電子デバイスビジネスは、情報家電、携帯端末やネットワーク向けのロジックICなど、高い成長が期待できる市場へのリソース集中を加速させるなど、収益体質の強化に徹底して取り組んでまいります。同時に、当社プロダクトの競争力強化に向けた、最先端CMOSテクノロジの開発を進めてまいります。お客様のニーズを捉えた新商品のタイムリーな市場投入を目指し、あらゆる工程におけるスピードアップを図っております。

財務体質につきましては、キャッシュフローを重視する経営により、財務体質の改善に向けた取り組みを進めております。上半期においては、保有株式の売却や、リース事業を持分法適用会社とするなど、有利子負債の圧縮に努めてまいりました。今後も、本業の事業収益を伸ばすことを第一に目指し、それに加え、資産の有効活用を進めることにより、財務体質の健全化を更に進めてまいります。

これらの課題を不断の努力を積み重ねることにより解決し、豊かで活力のあるネットワーク社会づくりに貢献できるグローバルな企業としてお客様や社会から信頼されるよう自己革新を一層図ってまいります。

【投資単位の引下げに関する考え方および方針等】

当社は、資本市場における個人投資家の参加促進が、資本市場の活性化および当社株式の長期的かつ安定的な保有促進の観点からも重要であると認識しており、会社情報の積極的かつ適正な開示を通じて会社の実状をお伝えすることを基本として、日々のIR活動を行っております。

投資単位の引下げは、個人投資家の資本市場への参加を促進し、株式の流動性を高める有効な施策のひとつであると考えておりますが、現状での当社株価の水準、株主数および個人株主の分布状況、市場における当社株式の流動性などを勘案した結果、投資単位の引下げについては現時点では時期尚早と考えております。

今後、資本市場における個人株主の動向や当社株価の推移を総合的に勘案し、適宜検討していきたいと考えております。